



藤本 みのる 通信

Vol 287

2018年4月10日発行



大月市議会議員



自宅 大月市猿橋町小篠 8 5 3

電話/FAX 0 5 5 4 - 5 6 - 7 2 7 2

患者満足度が高い小規模独法病院を視察

赤字補てんなどの経営問題もさることながら、患者さんとの信頼関係、患者満足度を引き上げることは大月病院の大きな課題です。議員有志で小規模公立病院の独法化で成功している事例を視察研修し、佐藤院長等への報告会も行いましたので、その様子をふくめ報告いたします。

報告会の感想交流の中で、佐藤院長から、「独法川崎町立病院が常勤医 4 名（内科）でやっていることを知って当院での独法を決断した経過があり、町立病院の現状や経緯を詳しく知りたかった」という話があり、問題意識がぴったり来たことに九州まで視察研修にいった甲斐を感じました。

同町立病院は独法化前、①平成 15 年からの療養型病棟への転換、②町長、議員、一般職員、医師を除く全正規職員の基本給最大 10%カット、③廃院にさせない職員の努力があって経営改善が図られましたが、さらに病院存続可能な経営形態を検討し地方独立行政法人（非公務員型）に移行しました。毎年患者満足度調査を行い事業やサービスに生かし、高い満足度の中で中期計画終了後には余剰金 1 億円を町に納付しました。常勤医 4 名で成功していることは、驚きであり希望を感じました。

小規模公立病院の地方独立行政法人化さきがけを視察研修

日程 3 月 26～27 日

場所 福岡県田川郡川崎町

| 人口 17183 人

独法川崎町立病院

| 平成 23 年独法移行

常勤医 4 名（内科）

病床数 99 床

| うち療養病床 41 床

参加 相馬保政議員

古見金弥議員

西室衛議員

鈴木章司議員

藤本実議員

目的 小規模公立病院独法化の現状と課題を視察研修し、人口減少と医師不足をふまえた大月病院のあり方や身の丈を考える参考とする

【藤本みのる活動日誌】

3月26日～27日 地方独立行政法人川崎町立病院視察研修(福岡県)

3月28日(水) 笑いの家とのうえ「実りの時間」(月1度のお話会)

4月 4日(水) 派遣議員団による視察報告会(中央病院内)